

事業性評価が導入され、銀行融資審査が大きく変わってしまう！

平成28年4月以降から中小企業融資の環境が激変すると言われております。

キーワードは

- ・信用保証協会
- ・責任共有制度
- ・負担割合
- ・事業性評価

の4つになります。

個人事業主を含めた中小企業の8割程度が融資を申し込む際に、信用保証協会付融資の対応を余儀なくされております。

金融庁からも各金融機関に対して、

『決算書・担保・保証だけに依存することなく、現場を通じて経営者や従業員と対話をする
ことで、経営者の経営能力や会社の技術力や営業力、はたまた社員の仕事に対するモチ
ベーションと言われている目に見えない情報を収集していきながら、融資先の事業実態を
見極めていきビジネスリスクを銀行も取り、担保・保証・信用保証協会などに依拠しない
で、新規融資に取組みなさい』

と大々的に注文が付きました。

評価の内容は、大きく分けて、①ビジネスモデル ②経営力 ③技術力 ④財務力の4つです。
この評価が『**事業性評価**』と言われているものであり、平成26年9月から運用開始とな
りました。

[事業性評価報告書のサンプルは下記をご参照ください。](#)

この一連の流れの中で、平成28年4月以降に信用保証協会付融資における銀行の負担割
合が、現在の2割から最大で5割まで引き上げられると言われております。

負担割合が何割になるのかは現時点では、未だ明確にはなっておりませんが、
いずれにしても銀行の負担割合が重くなれば、何が起こると思いますか？

そうです！銀行の貸し渋りが起こる可能性が高くなります。

今回の想定されていることが平成19年10月にも起こりました。

平成19年9月末までは、信用保証協会付融資の銀行負担は0%でした。

2割銀行が負担するようになったのが、平成19年10月以降です。

もちろん全ての融資先が貸し渋りを受ける訳ではありませんが、

しかしながら今回の事業性評価や信用保証協会の銀行の保証割合の負担増加について、

知らない中小企業経営者の方が多いのが実情です。

まず自社の現状を分析して課題の抽出、原因の追究を行い、金融機関の事業性評価を高める事前の対策が会社の資金調達環境を整えることにつながります。

早期に課題を発掘して、その対策に着手することをお勧めいたします。

経営ドッグの受診が課題の発掘や原因の追究に有効です。

又、長期的には毎月5テーマ発信している経営塾が、経営力のアップにつながります。

事業性評価報告書のサンプル



下記参照

事業性評価報告書

サンプル

企業情報

項目	摘要			備考
企業名				
代表者	(年齢 歳)			
所在地				
設立	() 年 月 日 (創業 年 月 日)			
資本金	円			
従業員数	名 (うち常用 名)			
電話				
FAX				
URL				
決算 (直近3期)	決算期(年月)	売上高	税引後当期利益	単位 (千円)
主要株主(%)	(%)			
業種				
主要取引先	企業名		構成比	%
	販売先			%
				%
				%
	仕入先			%
				%
			%	
(事業概要)				
(評価対象事業)				

1. 評価概要

- (1) 製(商)品・サービスの評価 (①新規性・独創性、②優位性)
- (2) 市場性・将来性 (①市場規模・成長性、②競合関係)
- (3) 実現性・収益性 (①販売価格・販売方法、②資金計画、③売上高・利益計画)
- (4) 経営性 (①事業推進能力、②資金調達力)

の各項目について評価を行い、これらを基に、総合評価として事業化可能性(リスクも含めた)評価を行った。

2. 項目評価及び評価方法

		評価視点
(1) 製(商)品・サービスの評価	①新規性・独創性	評価対象事業【技術力(キーテクノロジー、知的財産権)、製品・サービス等の商品価値】のコア技術・ノウハウ・ビジネスモデルの新規性・独創性についての評価を行った。
	②優位性	評価対象事業【技術力(キーテクノロジー、知的財産権)、製品・サービス等の商品価値】の競合相手に対する優位性について評価を行った。併せて、外部資源の活用等の面も評価した。
(2) 市場性・将来性の評価	①市場規模・成長性	市場規模(潜在的な市場の大きさ)、市場の安定性(需要の変動の有無)・成長性(市場のニーズや需要の今後の変動)・ポジショニング等について評価を行った。
	②競合関係	製(商)品・サービスの寿命(代替新商品等の登場による市場の変化)と競合関係(新規参入者の増加可能性、買い手との関係等)について評価を行った。
(3) 実現性・収益性の評価	①販売価格・販売方法	販売価格、販売方法について、競合企業と対比して営業面の評価を行った。特に製造業については、技術・生産・サービス体制(事業の運営管理能力)についての評価を行った。
	②資金計画	資金計画を中心とした財務計画等の経営管理面の妥当性を評価した。
	③売上高・利益計画	売上高利益計画の妥当性・計画の成功の可能性等を評価した。
(4) 経営性の評価	①事業遂行能力	経営者の先見性・意思決定のリーダーシップ・後継者育成・IT化の推進を考慮して評価を行った。
	②資金調達力	事業の有望性、技術の優位性、プレゼンテーション力、血脈・人脈等を考慮して評価を行った。
(5) 総合評価	技術面の評価	特に①新規性・独創性②優位性③市場規模・成長性④競合関係⑤販売価格・販売方法等の評価企業のコア・コンピタンスが顕著に顕れる項目を中心とした評価を総合して技術面に絞り込んだ評価を行った。
	技術面を含む総合評価	(1)～(4)の各評価結果及び課題を基に、事業可能性、リスク等を総合的に評価した。

事業性評価票

1. 評価結果

1 製(商)品・サービス	① 新規性・独創性	評価コメント					
	評価点数	5	4	3	2	1	
	評価コメント						
2 市場性・将来性	② 優位性	評価コメント					
	評価点数	5	4	3	2	1	
	評価コメント						
2 市場性・将来性	① 市場規模・成長性	評価コメント					
	評価点数	5	4	3	2	1	
	評価コメント						
2 市場性・将来性	② 競合関係	評価コメント					
	評価点数	5	4	3	2	1	
	評価コメント						

3 実現性・収益性	① 販売価格・販売方法	評価コメント				
		評価点数	5	4	3	2
	② 資金計画	評価コメント				
		評価点数	5	4	3	2
	③ 売上高・利益計画	評価コメント				
		評価点数	5	4	3	2

4 経営性	① 事業遂行能力	評価コメント					
		評価点数	5	4	3	2	1
	② 資金調達力	評価コメント					
評価点数		5	4	3	2	1	

2. 現在抱える問題点

現在抱える課題と問題点	評価コメント

3. 総合評価

技術面の評価	評価点数	5	4	3	2	1

※ 技術面の評価は、技術力等のみの評価として行っています。

総合評価	評価点数	5	4	3	2	1

評価点数凡例

- 5 = 総合的に優れているレベル。個別評価にも優れた要素・事項が極めて多い。
- 4 = 総合的に良いと評価できるレベル。個別評価にも優れた要素・事項がある。
- 3 = 総合的に一応良いと評価できるレベル。しかし、個別評価では努力すべきもの、見直すべきもの又は留意すべき要素・事項がいくつかある。
- 2 = 努力すべきもの、見直すべきもの又は留意すべき要素・事項が多く、総合的に良いとはいえないレベル。
- 1 = 極めて高いリスク又は重大な問題がある。

総合評価	評価コメント

以上

平成26事務年度 金融モニタリング基本方針

平成26年9月 金融庁

2. 事業性評価に基づく融資等

金融取引・企業活動の国際化や、国内では高齢化や人口減少が進展する中において、日本の企業や産業が活力を保ち、経済を牽引することが重要である。地域経済においては、人手不足も見られる中、企業・産業の生産性向上を図ることが重要である。

このため、グローバルな競争環境の下で事業を展開する企業や産業が国際競争力を維持・強化するとともに、地域経済圏をベースとした企業や産業が、必要に応じ穏やかな集約化を図りつつ効率性や生産性を向上させ、地域における雇用や賃金の改善につながることを期待される。

こうした中、金融機関は、財務データや担保・保証に必要以上に依存することなく、借り手企業の事業の内容や成長可能性などを適切に評価し（「事業性評価」）、融資や助言を行い、企業や産業の成長を支援していくことが求められる。また、中小企業に対しては、引き続き、きめ細かく対応し、円滑な資金供給等に努めることが求められている。

金融庁としては、この面での金融機関の経営姿勢、企業の事業性評価への取組み、企業に対し現実にかなる対応を行っているか等につき、検証を行っていく。

1. 主要行等における課題と今事務年度の考え方

主要行等は、資産規模が大きく幅広い顧客基盤を有しているため、その活動は、取引先企業や産業セクター、個人の経済活動を通じて、日本の経済や市場に大きな影響を与えうる。また、主要行等の健全性は、日本のみならず、グローバルな金融システムに影響を与える可能性もある。

こうした影響力の大きさにかんがみ、主要行等は、金融仲介機能を発揮することにより、日本の企業・産業の持続的成長、個人の資産形成の高度化、国民生活や市場の安定に貢献することが期待されており、こうした役割を果たすことは、主要行等自らの安定的な収益の確保及び健全性の維持にもつながる。

このような「好循環」の実現を目指し、特に、以下の4点に留意してモニタリングを実施する。

第一に、主要行等においては、国際的・業態横断的な業務展開を通じて、グローバルな産業に対する知見を集積しやすいことや、より高度なサービス提供が可能であるという特長を活かして、企業・産業の競争力向上、持続的発展及び円滑な新陳代謝の実現につながる取組みが期待される。具体的には、個別の借り手企業の事業の内容のみならず、産業全体の状況や成長可能性などを適切に評価し（「事業性評価」）、上記の特長を活かしたアドバイスの提供や海外でのファイナンスも含めた成長資金の円滑な供給に向けた取組みを行うことが重要である。

2-1 金融仲介機能の発揮

(1) 産業の新陳代謝・経済の成長を支える成長資金の供給

① 取引先企業の適切な評価、解決策の提案及び実行支援

主要行等は、(i) 大企業から中小企業まで幅広い取引先を有しており、個別企業のみならず、グローバルな産業に対する知見を集積しやすい、(ii) 国際的・業態横断的な業務展開を活かして、例えば、企業の海外進出支援、エクイティ性資金の供給等を含めた事業支援、プロジェクトファイナンスを通じたインフラ整備に対する支援など、高度なサービスの提供が可能である、といった特長を有している。

こうした特長を活かし、

(i) 取引先企業や産業全体の課題・ニーズの的確な把握・分析及びこれを踏まえた事業性評価の実施、

(ii) 当該評価を踏まえた取引先企業ごとの課題に対応した適切な解決策の提案、といった産業の新陳代謝・経済の成長を支える成長資金の供給に向けた取組みを、取引先企業において問題が顕在化することを待たずに前広かつ適切に行っているか、検証する。

中小企業については、地域経済の活性化及び地域における金融の円滑化などの観点から、

(i) 企業の状況に応じて、円滑な資金供給や貸付けの条件の変更等に努めているか、
(ii) 経営者保証に関するガイドラインの活用や本年3月の銀行法施行規則改正の趣旨も踏まえたリスクマネーの提供等、適切な対応を行うことができる態勢を整備しているか、

(iii) 借手企業が経営課題を認識した上で、経営改善、事業再生等に向けて自助努力で
きるよう、必要に応じ、外部専門家や外部機関等と連携を図りながら、財務面のアドバイ
スに留まらない、積極的なコンサルティング機能を発揮しているか、(iv) その他国際
的・業態横断的な業務展開を通じた知見に基づく、中小企業の成長・再生の支援に向
けた積極的な取組みが行われているか、検証する。

1. 地域金融機関における課題と今事務年度の考え方

地域金融機関は、特定の地域に密着した営業展開を行っており、中小企業や個人を主要な顧客基盤としていることから、地域の経済・産業活動を支えながら、地域とともに自らも成長・発展していくという「好循環」の実現に向けた取組みを強化することが求められている。

また、地域経済において、人手不足も見られる中、その活性化を図っていくためには、企業や産業が、必要に応じ穏やかな集約化を図りつつ効率性や生産性を向上させ、地域における雇用や賃金の改善につながることを期待される。

このため、地域金融機関は、地域の経済・産業の現状及び課題を適切に認識・分析するとともに、こうした分析結果を活用し、様々なライフステージにある企業の事業の内容や成長可能性などを適切に評価（「事業性評価」）した上で、それを踏まえた解決策を検討・提案し、必要な支援等を行っていくことが重要である。

特に、目利き能力の発揮による企業の事業性評価を重視した融資や、コンサルティング機能の発揮による持続可能な企業（特に地域の経済・産業を牽引する企業）の経営改善・生産性向上・体質強化の支援等の取組みを一層強化していくとともに、継続困難な企業に対する円滑な退出への支援にも取り組んでいくことが求められている。

こうした取組みは、取引先企業の生産性向上や産業の新陳代謝の促進につながるものであると同時に、地域金融機関にとっても、単なる金利競争ではない、付加価値の高いサービスの提供による競争を可能とし、自らの安定的な収益の確保及び健全性の維持・向上につながるものである。地域金融機関は、こうした役割を持続的に発揮していくために必要な機能や態勢及びその前提となるリスク管理態勢や経営体力の一層の強化を図っていくことが重要である。

その際、地域金融機関としてのビジネスモデルである地域密着型金融を、地域の利用者や経済・社会に貢献するとともに自らの財務の健全性や収益性の向上を図っていくものとして再確認し、こうしたビジネスモデルを自らのものとして構築していくとの中長期的な視点に立って、組織全体としての創意工夫を凝らした取組みを継続・強化していくことが重要である。